

スーパーグローバルハイスクール(SGH)活動報告

★平成 28 年 2 月 6 日(土) 2 年生課題研究発表会開催

本校 SGH2 年生が作った6つの BOP ビジネスプランをプレゼンする、2 年生課題研究発表会を開催致しました。ご来賓に日本政策金融公庫の永井俊二様をお迎えし、「第 3 回高校生ビジネスプラングランプリ」に応募した 10 月よりさらに研究を深めた6つのプランをご覧いただきました。また、プランの内容やプレゼンなどを SGH 運営指導員の先生方やご来賓に評価していただき、最優秀賞などを授与しました。



<発表内容>

1. 「BANANICE ～あららバナナでまさかのビジネス～」 三丘ペそ班 【最優秀賞】

バナナイス＝バナナ＋ナイス＋アイス (BANANICE＝BANANA＋NICE＋ICE)、つまりバナナイスというのはバナナアイスのこと。フィリピンの小規模な農家の人たちからバナナやココナッツを主とするアイスクリームの材料を購入、現地で加工し(実を収穫後廃棄される茎でアイスのカップを作成)、日本へ輸出して販売する BOP ビジネスプラン。

2. 「フィリピンで JAPANTEA ～緑茶文化を広めよう～」 W Island Tea 班 【優秀賞】

フィリピンで茶の木を栽培するところから始め、茶葉を製造して現地でグリーンティー専門店として商品売り出す。商品や店内は日本をコンセプトにしたものにし、フィリピンに「茶」という新しい商品を定着させる。女性の積極的な雇用を促す。

3. 「ココナッツで歯磨き!? ～日本の歯磨き文化でフィリピンを救おう!!～」 C&C 班 【優秀賞】

フィリピン産のココナッツを使用し、オーガニックな歯磨き粉を製造する BOP ビジネスプラン。フィリピンのココナッツ農家の収入を安定させ、製造の過程で新たな雇用を生み出し、仕事のない、収入の少ない人々を経済的に援助する。また正しい歯磨き指導を行うことにより、よりよい歯の衛生環境を作る助けになる。

4. 「Japatern 傘」 JPT 班

フィリピンの小規模農家で捨てられるバナナの葉や茎からバナナペーパーを作り、雇用を増やす。バナナペーパーを材料とした、低価格でデザイン性のある和傘を日本で販売する BOP ビジネスプラン。

5. 「Cocodress」 コドレス班

フィリピン名産であるココナッツ農家の経済的な貧困問題に注目して、フィリピンでココナッツが愛されていて、日本では健康志向のある人が多いことからフィリピンと日本の両国で売ることのできるドレッシングを農家で作り、店舗販売やネット販売を行うことでフィリピンのココナッツ農家の問題を解決する BOP ビジネス。

6. 「JAPINOY EDUCATION」 これすぽ! 班

人口増加により雇用が足りないフィリピンと、人口減少で人手不足の日本、どちらの国の問題も人材派遣という形で解決しようという BOP ビジネス。

(この班は、高校生ビジネスプラングランプリ全国ベスト 10 入りし最終審査会へ出場したため、今回は審査対象としませんでした)

2年生のプレゼンは、聴衆にビジネスプランを理解してもらいやすいように、構成、スライド等に工夫がなされており、素晴らしいものでした。また、実際に作成した菌磨き粉や傘などを審査員の先生方に見てもらうなど、実際にどのような商品かわかりやすいよう、サンプルまで作る念の入れようでした。10月に「高校生ビジネスプラングランプリ」に応募し、6つのうち5つが100位入賞という素晴らしい成績を残しましたが、彼らはそれに満足せず、研究所に勉強に行ったり、企業を訪問して助言をいただいたりして、それぞれのプランを更にパワーアップしました。生き生きとプレゼンを行い、質疑応答にも一生懸命答えている姿を見て、2年間の成長を感じました。5月には、これらのプランを英語に翻訳し、日本にいる外国人留学生にプレゼンします。1期生の更なる成長に期待したいと思います。



★平成28年2月23日(火) 1年生課題研究発表会

1年生の1年間の成果を発表する課題研究発表会を校内で行いました。3月にポートランドに行くメリルハーストチームと8月にフィリピンに行く西本チームに分かれ、それぞれ発表を行いました。内容は以下の通りです。

1 西本先生チーム発表

- ①ようこそ堺へ！
- ②インターンでリターン ～待機児童問題解決へ～
- ③派遣で発見！ ～あなたの仕事を探します～

2 メリルハーストチーム発表

- ①Biodiesel
- ②City Planning
- ③Green Building
- ④Waste Disposal
- ⑤Eco-shuttle

西本チームは1年生とは思えぬ調査力を見せつけてくれました。堺の活性化および観光客誘致、待機児童問題解決、女性の社会進出という現代で問題となっているテーマだったのでどうなることやらと思いましたが、仮説、検証、提案などしっかりした組立で自分たちの研究結果をわかりやすく伝えることができていました。そして何より驚いたのは様々な施設、企業、大学の先生などにしっかりとヒヤリングをし、裏付けをとっていたところです。収支計画を考えた班もありました。本当に1年生なのか？と驚きました。来年のBOPビジネスプラン、どのようなものを練り上げてくれるのか、本当に楽しみです。

メルルハーストチームは英語での発表となりました。今年の1年生は英語力が高い！11月には英語がたどたどしかった生徒も、今回はとても流暢に話すことができていました。内容は、ポートランドの環境対策や都市計画について。実地調査ができないので西本チームほど深い研究はできませんでしたが、3月に行われるポートランドフィールドワークでは、全米一と呼ばれるポートランド市の環境保全と都市計画についてしっかりと学んでくれると思います。

そして、何より驚いたのは全員のプレゼン能力の高さ！2年生のプレゼンを見て参考にしてくれているからだと思いますが、「主役はオーディエンス」という東大悟先生の教えの通り、とても分かりやすい構成にしていました。恐るべし、2期生。これからの飛躍を楽しみにしています！

